

成果指標				
成果指標	介護予防普及啓発事業の開催回数及び参加延べ人数並びに地域介護予防活動支援事業実施回数			
指標設定の考え方	高齢者が活動に参加することで、介護予防に繋げる。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	2000人	2000人	3000人	0
実 績	1806人	2842人	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	包括主催の元気いきいき教室を5回コースで実施。好評のためフォローアップ教室を実施し、自主グループ育成の支援を行った。また、委託事業所においても転倒予防教室や認知症予防教室などの介護予防事業を実施し参加者が増加した。今後も、介護予防の普及啓発のため魅力ある事業を行っていききたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	高齢者の閉じこもりを予防し身体機能を維持するための事業として、元気いきいき教室や各種委託事業を実施した。参加人数が増加し開催回数も増えているが、より多くの参加を得られるよう、啓発活動の継続と合わせて事業内容を検討する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	評価委員会抽出事業

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	・元氣いきいき教室など、啓発事業の回数や参加者数をどう増やしていくかが大事である。直接事業費400万円でいけるのかどうか。目標数も多く設定している。もっと充実すればよいのではないか。・啓発活動を一生懸命行っており、参加人数もどんどん増えている。大変良いことである。今後も介護予防につながると良いと思う。・絶対数が増えるのだから、増えていく。ご苦勞ではあるがよろしく願いたい。
-------------------	---

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	